



独立な試行の確率

2つの試行が互いに他方の結果に影響を及ぼさないとき、これらの試行は独立であるという

ref: 数学図鑑 p33


このとき、 A が起きたかどうかは B の起きやすさに影響しないので、

$$P(B|A) = P(B)$$

が成り立つ

よって、確率の乗法定理は次のように書き換えられる

$$P(A \cap B) = P(A) \cdot P(B)$$

 独立な試行の確率 2つの独立な試行 S, T を行うとき、「試行 S では事象 A が起こり、試行 T では事象 B が起こる」という事象を C とすると、事象 C の確率は、

$$P(C) = P(A) \cdot P(B)$$